

## 芸術監督・斎藤 純のショートエッセイ 石神の丘から 114

私が岩手町立石神の丘美術館の芸術監督に就任したのは 2009 年 4 月でしたので、来月でちょうど 10 年を迎えます。この機会にざっと振り返ってみたいと思います。

石神の丘美術館は県北地域では唯一の美術館です。また、全国的にも珍しい町立の美術館です。地方の美術館は「美術のことだけをやっていればいい」というわけにはいきません。人口が減り続けていく中で交流人口の創出、ひいては地域活性化の拠点としての役割も担っていることを十分に認識し、重視してきました。

地域の活性化の基本は、まず地元をよく知ることです。地元学とも呼ばれるそれは地元を再発見することでもあります。博物館的な企画展に力を入れてきたのは、その反映です。『玉菜（キャベツ）にまつわる資料展』、『岩手町大百科展』、『北緯 40 度展』などは本来の美術館の守備範囲から大きくはみだした内容ですが、地元学の実践と地方からの文化発信という役目の一端を果たしたと自負しています。

また、就任当初に表明した「自然と芸術」というコンセプトを実現したものとして、『瀬川強写真展』は自然と芸術がみごとに融合した内容でした。

これまで彫刻や絵画といった「美術」だけでなく、写真やポスターなどにも目を向けてきたように、今後はさらに岩手発の商業デザインや工芸品といったジャンルも扱っていきたいと考えています。

このような活動を通して石神の丘美術館は、「地域にとって美術館とは？ 美術館が果たす役割は何か？」という問いに対する答えを示してきたともいえます。その結果、石神の丘美術館は美術関係者ばかりではなく、「まちづくり」に取り組んでいる多くの方々からも注目され、高い評価を得ています。この小さな美術館が岩手町の総人口 1 万 3500 人を超える 2 万人もの入館者にお越しいただいていることは「美術館のある町・岩手町」の大いなる誇りといっていいいでしょう。

ともあれ、美術館の運営に関して素人だった私が今日までこうして続けてこれたのは、町民ならびに岩手町役場のみなさん、石神の丘美術館を指定管理している岩手町ふるさと振興公社のみなさん、そして石神の丘美術館ファンの方々のみなさんのおかげです。特に美術館のスタッフにはこの場を借りて感謝したいと思います。

現在、野外展示場は来年初夏のリニューアルオープンに向けて工事中です。大好きな散策路を歩けないのは私も残念ですが、さらに充実した美術館を目指していますので、どうぞご期待ください。

今後ともよろしくお祈りします。

## 石神の丘美術館通信《いしび》

# ishibi

2019. 3 Vol.192

平成 31 年 3 月発行  
発行・岩手町立石神の丘美術館  
岩手県岩手郡岩手町五日市  
10-121-21 〒028-4307  
TEL 0195-62-1453  
FAX 0195-62-1477  
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

屋外展示場はリニューアル工事の為  
2020年初夏までお休みしています

第 2 回岩手町文化財展

## 伝統 と継承

～沼宮内・水堀・  
東部地区の文化財～



2019年  
3月2日(土)～4月7日(日)  
石神の丘美術館 展示室

開館時間 / 9時～17時(入館は16時30分まで)  
休館日 / 毎週月曜日 **入場無料**

3月中旬に文化財講演会の開催を予定しております。

主催・お問い合わせ先  
岩手町教育委員会 社会教育係  
TEL 0195-62-2111(内線342)



第 1 回岩手町文化財展  
歴史回廊 - 一方井・浮島地区をめぐる - より

## ＊ ＊ 3月の展覧会案内 ＊ ＊

会 期:2019年 3月2日(土)～4月7日(日)

会 場:岩手町立石神の丘美術館 企画展示室・ホール

開館時間:9:00～17:00/休 館 日:毎週月曜日 《入場無料》

### 【企画展示室】

#### 第2回 岩手町文化財展

#### 伝統と継承

#### ～沼宮内・水堀・東部地区の文化財～

岩手町の中央部・北部・東部に位置する沼宮内・水堀・東部地区は、縄文時代から現代まで、地域の歴史や人々の暮らしを知る上でも多様な伝統文化が息づいている地区です。藩政時代の沼宮内地区には、盛岡南部藩の代官所が置かれ、岩手郡の中心地として、また、沿岸部との交易路の中継地点として栄えてきました。本展では、郷土芸能を中心に地域に残る多様な文化財を通し、現代まで継承されている歴史的・文化的価値と魅力をご紹介します。

《関連催事》3月中旬に文化財講演会の開催を予定しております

主催:岩手町教育委員会事務局 社会教育係 TEL.0195-62-2111(内線342)

### 【ホール展示】

#### 考古学研究者 高橋昭治 エジプトの思い出

1930(昭和5)年、岩手町生まれの高橋昭治さんは、印刷業を営む傍ら在野の考古学研究者として活躍してきました。本展では、高橋さんから寄贈をうけたエジプト児童画を中心に、高橋さんが出版した『エジプトの思い出』より紀行文等をご紹介します。

主催:岩手町立石神の丘美術館



## 平成31年度 展覧会スケジュール

### ◇4/20(土)～6/2(日)「松本伸 写真展」

盛岡市出身の写真家・松本伸が、およそ30年にわたって撮影してきた岩手の人1,000人の肖像写真を紹介します。

### ◇6/15(土)～7/28(日)「斎藤潤と斎藤純 ふたりの紀行文展」

岩手ゆかりの紀行文作家・斎藤潤の著作やこれまでにたずねた島の様子、また岩手町を旅した紀行文を紹介します。あわせて、当館芸術監督・斎藤純が源泉から河口まで北上川をたどる紀行文も紹介します。

### ◇8/10(土)～9/16(月・祝)「大宮政郎 ドローイング展」

水沢市(現奥州市)出身の美術家・大宮政郎の近作ドローイングを紹介します。

### ◇9/28(土)～11/4(月・祝)「宇田義久 平面と立体展」

福島県出身の美術家・宇田義久がこれまで取り組んできた糸や布を用いた平面、立体作品をシリーズで紹介します。

※展覧会タイトルは仮称です 会期・内容は都合により変更する場合があります

### 美術館隣接 道の駅 石神の丘/レストラン石神の丘情報

道の駅 石神の丘 TEL0195-61-1600/レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602



### 3/4(月)からの おすすめランチ

- ◆ Aランチ ¥980  
三陸産カキフライと  
やまと豚ミルフィーユカツセット  
タルタルソース添え(ライス、みそ汁、サラダ)
- ◆ Bランチ ¥880  
県産豚生姜焼井  
ミニかけうどんセット(おしんこ、小鉢)
- ◆ Cランチ ¥780  
石神ラーメンと黒内豆腐揚げ出し  
きのこあんかけミニ丼セット(おしんこ)
- ◆ おすすめランチ ¥650  
若鶏の唐揚げセット  
油淋鶏ソース(ライス、みそ汁、サラダ)
- ◆ ワンコインランチ ¥500  
ブルーベリービーフカレー(サラダ、スープ)